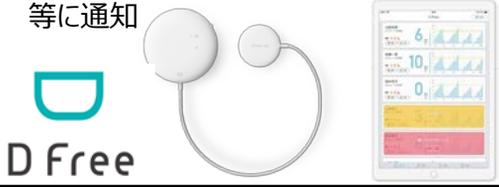


1 一覧表

| テーマ                | 「ロボットやウェアラブル機器を活用した看護・介護支援」  |   |
|--------------------|--|---|
| 都政現場               | 福祉施設   | 都立病院  |
| スタートアップ企業<br>(代表者) |  株式会社 イノフィス<br>(古川 尚史)  | Triple W<br>トリプル・ダブリュー・ジャパン<br>株式会社<br>(中西 敦士)  |
| プロダクト・サービスの概要      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口筋肉を活用した腰補助用のアシストスーツ</li> <li>● 電気を一切使わず、空気圧式の人口筋肉に手動ポンプで空気を装填することにより稼働</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 超音波技術を活用し、リアルタイムで膀胱内の尿の溜まり具合を計測する世界初の排泄予測ウェアラブルデバイス「DFree」</li> <li>● 排尿のタイミングを事前にスマートデバイス等に通知</li> </ul>  |
| 実証内容の概要            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 従事者が製品を装着し、入所者の体位交換、移乗、清拭、オムツ交換等の作業負担を軽減</li> <li>● 筋電計やモーションキャプチャーなどを用いて、作業時の負担軽減効果を検証</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 急性期・回復期等の患者に装着・活用してもらい、自立排尿に誘導することで早期回復を促進</li> <li>● 患者の自立度の改善効果や看護師側の業務負担の軽減効果を検証</li> </ul>   |

| テーマ                | 「東京国際クルーズターミナル開業の機を捉えたインバウンド観光振興」  | 「都立病院におけるICT（情報通信技術）の積極活用」   |
|--------------------|--|--|
| 都政現場               | 東京国際クルーズターミナル  | 都立病院   |
| スタートアップ企業<br>(代表者) |  WAmazing 株式会社<br>(加藤 史子)   |  Holoeyes 株式会社<br>(谷口 直嗣)   |
| プロダクト・サービスの概要      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 無料SIMカードを配布し、訪日外国人旅行者の通信環境の不便を解消</li> <li>● 訪日観光客向けに観光情報閲覧や各種予約手配等が可能なプラットフォームアプリを提供</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● CTスキャンやMRIから生成した3DデータをVR化して、手術の検討、トレーニング、教育等へ活用可能なサービスを提供</li> <li>● 利用者側ではエンジニアを必要とせず簡単にVRアプリ化が可能</li> </ul>  |
| 実証内容の概要            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 専用機を設置し、無料SIMカードの配布及び交通周遊切符の販売を行うとともに、専用アプリの利用を促進</li> <li>● 訪日観光客の行動データや購買データ等を分析し、経済効果を可視化</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● VR化された3Dデータを手術中、手術カンファレンス、研修医教育、患者とのコミュニケーション等へ活用</li> <li>● 手術の効率化や、研修の効果の向上、患者の理解度促進等における効果を検証</li> </ul>   |

2 実証実験の実施時期

- 令和2年7～12月頃に実施する予定です。
- 詳細な実施時期については、今後、各都政現場との調整により決定します。